

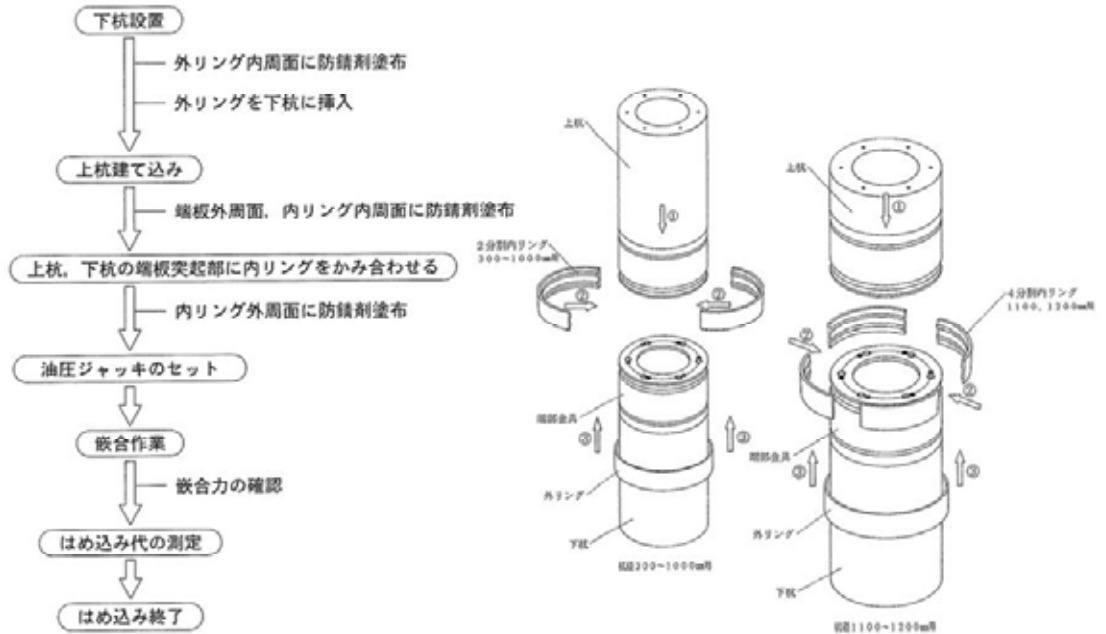
ペアリングジョイント(PJ)

無溶接継手

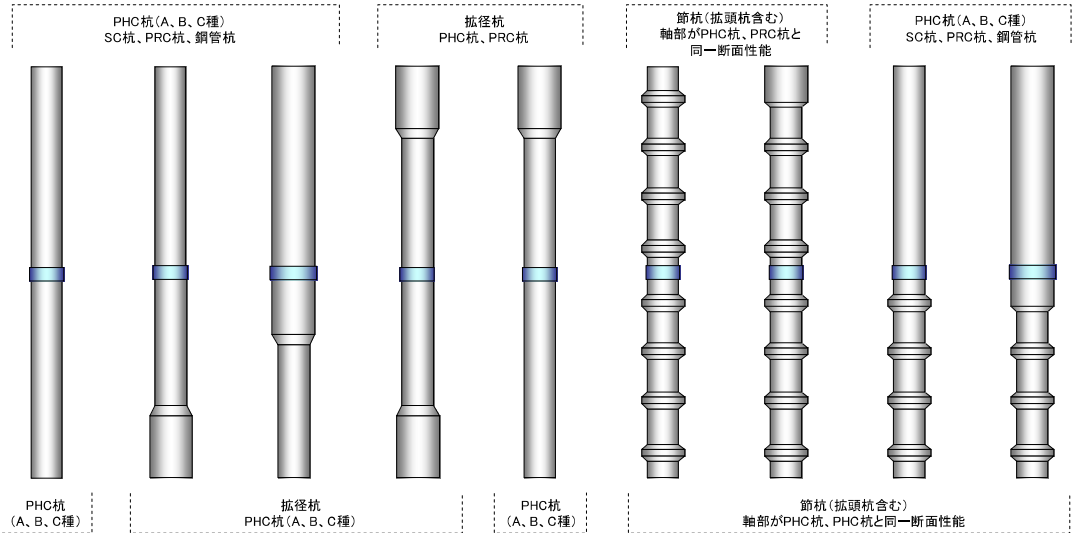
■工法概要

本継手は、端部金具、内リング及び外リングから構成されている。端部金具は、端板と補強バンドからできており、端板は上杭と下杭を突き合わせたときに内リングで挟み込むことのできる突起が付いた特殊形状をしている。内リングは、分割されており、内側は、上杭と下杭の端板突起部を挟み込むことができる2本の突起が付いている。外側は、上方に厚いテーパ状になっており、表面は3mmピッチの細やかな溝が刻み込まれている。この溝は、同様な溝の刻み込まれた外リングの内側との間にかみ合う構造となっている。外リングは、内側がテーパ状になっており、分割された内リングの外側から拘束する役割をもっている。

■施工順序



■適用杭種 【適用杭種概念図】



■評定番号

BCJ評定-FD0393-06(H26.2.28)

・使用杭 : 打込み杭工法(φ300~φ600)
埋込み杭工法(φ300~φ1200)

注: SC杭同士を継ぐPJ無溶接継手杭については、旧建築基準法第38条に基づく大臣認定「建設省形住指発第17号」(平成10年7月31日)があります。